



学校だより

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yokohamafukayadai>

令和6年6月28日

7月号

横浜市立横浜深谷台小学校

校長 角井 治朗

「教育DX」の波の中で

校長 角井 治朗

例年より2週間近く遅い梅雨入りとなりましたが、真夏のような暑さに見舞われたり局地的に大雨が降ったりするなど心配な状態が続いています。学校では、こうした天気の変化や暑さ対策に気を配りながら日々の教育活動を進めているところです。また、22日(土)に行われた土曜参観には、多くの保護者の皆様にお越しいただき、ありがとうございました。新年度がスタートして早3か月、子どもたちが新しい環境に慣れ、元気に学んでいる様子をご覧いただくことができたのではないかと思います。

さて、土曜参観当日の3校時に学校説明会とPTA総会を行いました。その際に、改めて今年度の学校運営方針についてお話をさせていただきました。「子どもたちの主体性を育むこと」や「人、もの、事との豊かなつながりを大切にしていくこと」は、既にこれまでの学校だより等でもお伝えしてきた通りですが、これらに加えて、今回、学校説明会でお伝えしたのは「教育DXの推進」についてです。子どもたちにとって一人一台の端末活用は日常となり、加えて、保護者の皆様との連絡ツールとして「すくーる」の利用が始まっています。また、先日、メディア等で大きく報道された「横浜 St☆dy Navi」という学習支援システムの導入準備も全市的に始まっています。詳しくは、別途お知らせを发出いたしますが、このシステムを活用することで、子どもたち自身や私たち教職員が学習の理解や習熟の状況、心と体の健康状態等を把握したり、それらを日々の学習に生かしたりすることができるようになります。こうした環境の整備を背景に、本校でも、本校の実態に合った活用の仕方を検討していかなければなりません。同時に、押し寄せる変化の波から子どもたちを守り、適切にかかわっていくためのリテラシーや情報活用能力の育成も喫緊の課題です。変化には不安がつきものですが、大切なことは、私たちが目指すのは子どもたちの「主体性」や「つながり」を育むことであって、「教育DX」はそのための手段の一つに過ぎないということを忘れないことではないでしょうか。保護者や地域の皆様ともそんな思いを共有しながら教育活動を進めていきたいと思っております。

いよいよ7月です。子どもたちにとっても楽しみな夏休みが近づいてきました。この期間、様々な情報機器やメディアとの関わりも家庭が中心になります。ぜひ、ご家庭においても、それらを利用することのよさや課題について話題にしてくださいとありがたいです。子どもたちが楽しく有意義な夏休みを迎えることができるよう、学校でもしっかりと指導を進めていきますので、引き続きご家庭でもご協力をお願いいたします。